

対馬市地域公共交通活性化協議会

平成21年2月23日設置



概要

対馬市においては、人口の減少やモータリゼーションの進展などにより、路線バスの利用者の減少が急速に進んでおり、その財政負担も多額に上っているが、これ以上の減便・廃止は困難な状況にあり、赤字路線の切捨てによる路線廃止は、市民サービスの低下及び交通空白地域の増大につながることから、乗合タクシーやコミュニティバスの導入も含め、地域の実態に即した将来的に持続可能な公共交通体系の構築を図る。

○地域公共交通の現況

- ・対馬交通(株)(路線数:38系統)
- ・コミュニティバス(運行系統:4系統)
- ・スクールバス(校区数:25小中学校校区)

○地域公共交通の課題

- ・モータリゼーションの進展、少子化による利用者の減少
- ・減便や系統廃止による主要施設へのアクセス及びモード間の乗り継ぎが不便

○調査の主な内容

- ・路線バス乗降調査
- ・利用者ニーズ把握調査(車内簡易アンケート調査)
- ・住民及び高校生ニーズ調査(アンケート調査)

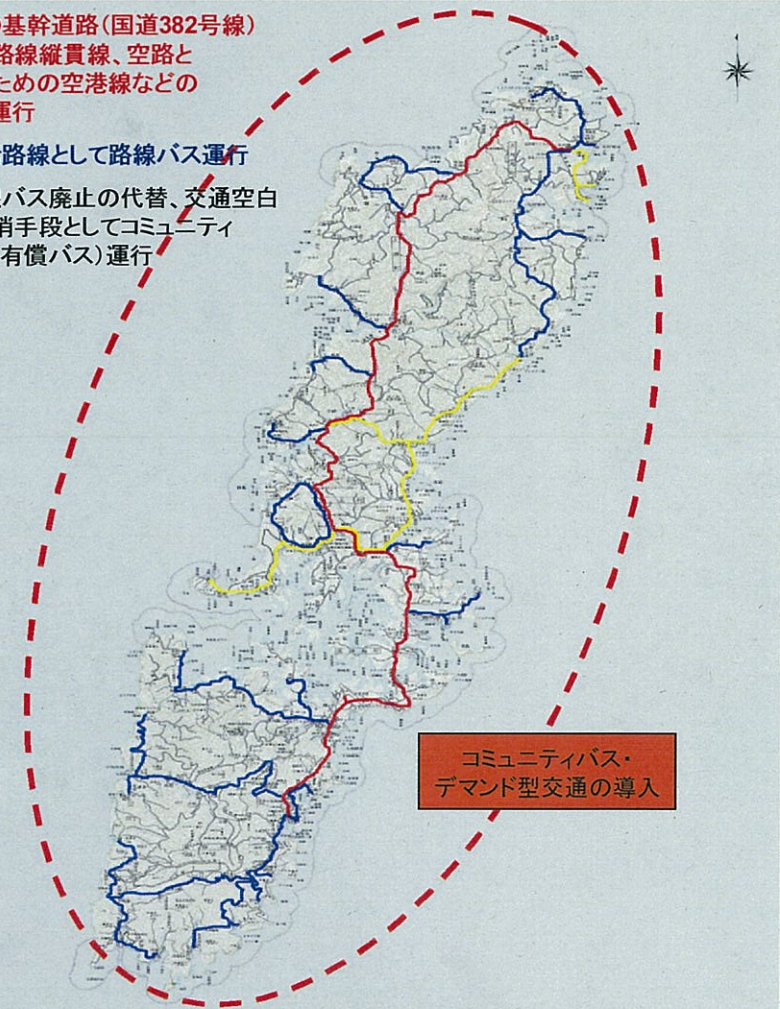
○地域公共交通総合連携計画の構想(予定)

- ・コミュニティバス・乗合タクシーの導入検討
- ・デマンド型交通の導入検討
- ・路線バスの再編検討
- ・乗継施設整備の検討

赤線:島の基幹道路(国道382号線)
島の基幹路線縦貫線、空路との
接続のための空港線などの
路線バス運行

青線:生活路線として路線バス運行

黄線:路線バス廃止の代替、交通空白
地域の解消手段としてコミュニティ
バス(市営有償バス)運行



コミュニティバス・
デマンド型交通の導入